

# 東京交響楽団

## 第6回八王子定期演奏会

—近代のフランス文学と、  
隠されたワーグナーに寄せる

至高のプログラム —

クラシック界を牽引する  
若手実力派マエストロ。  
八王子学園八王子高等学校出身。

指揮 川瀬 賢太郎

チェロ 辻本 玲

第2回ガスバール・カサド国際  
チェロ・コンクールin八王子  
第3位入賞（日本人最高位）

©Yoshinori Kurosawa

### PROGRAM

ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲  
デュティユー：チェロ協奏曲 遥かなる遠い世界  
ブラームス：交響曲第2番 ニ長調 op.73

### 全席指定

チケット発売日	友の会	11/6(水)	一般	11/13(水)
友の会	S席	5,100円	A席	4,200円
一般	S席	5,600円	A席	4,600円
ユース券		1,000円		※25歳以下の方（年齢の確認できる身分証をご提示下さい） ※未就学児入場不可

- ◆ 販売窓口 ※発売初日は10:00～ ●いちょうホール 042-621-3001 ●南大沢文化会館 042-679-2202
- 学園都市センター 042-646-5611 ●オリンパスホール八王子 042-655-0809
- ◆ 電話予約 ※発売初日は13:00～ (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 042-621-3005
- ◆ インターネット予約 ※発売初日は13:00～ <http://www.hachiojibunka.or.jp/> ※事前に利用登録が必要です。
- ◆ チケットひあ <http://t.pia.jp/> [Pコード: 168-302] ※一般のみ取り扱い
- ◆ イーフラス(e+) <http://eplus.jp/> ※一般のみ取り扱い

# 第6回八王子定期演奏会に寄せて

川瀬 賢太郎

八王子高校に通っていた僕にとって、ゆかりの地である八王子で東京交響楽団と演奏できることはこの上ない喜びです。今回のプログラムは前半にフランスの作曲家の作品、後半にドイツの作曲家の作品となっています。さて、今回の演奏会にあえて題名を付けるとすれば「フランス文学と見えないワーグナーの存在」でしょうか。

え？ ワーグナーを演奏するわけではないのに？ 何で？ と思う方が大半かもしれません。ドビュッシーの牧神の午後への前奏曲はマラルメの詩にインスピレーションを受けて作曲されました。デュティユーのチェロ協奏曲はボードレールの詩集「悪の華」にインスピレーションを受けた作品です。そう、前半の2曲はフランス文学からインスピレーションを得て作曲された作品なのです。そして、ドビュッシーもボードレールもワグネリアンでした。

後半のブームスもワーグナーと反りが合わなかったと言われていますが、ブームス自身が自らを「最高のワーグナーファン」と語ったという逸話も残っています。何より彼の作品にもまたワーグナーからの影響が見られます。そういう意味で今回のテーマは見えないワーグナーの存在。ほら、楽しみになってきましたね？

指揮

チェロ



©Yoshinori Kurokawa

## 川瀬 賢太郎

1984年東京生まれ。私立八王子高等学校芸術コースを経て、2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻（指揮）を卒業。これまでに指揮を広上淳一、沙澤安彦、チョン・ミョンファンなどの各氏に師事。2006年10月に行われた東京国際音楽コンクール<指揮>において2位（最高位）に入賞。その後、各地のオーケストラから次々に招きを受ける。2011年4月には名古屋フィルハーモニー交響楽団指揮者に就任。2014年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者に就任。卓越したプログラミングを躍動感あふれる演奏で聴衆に届けている。オペラにおいても、細川俊夫作曲「班女」、モーツァルト作曲「魔笛」、ヴェルディ作曲「アイーダ」などを指揮。目覚ましい活躍を遂げている。現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団正指揮者、神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢常任客演指揮者、八王子ユースオーケストラ音楽監督、三重県いなべ市親善大使。2015年渡辺雄基音楽基金音楽賞、第64回神奈川文化賞未来賞、2016年第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第26回出光音楽賞など各賞を受賞。東京音楽大学作曲指揮専攻（指揮）特任講師。



## 辻本 玲

東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。その後シベリウス・アカデミー（フィンランド）、ベルン芸術大学（スイス）に留学。第72回日本音楽コンクール第2位（「聴衆賞」受賞）。2007年度青山音楽賞新人賞受賞。2009年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール in 八王子第3位入賞（日本人最高位）。2011年に東京サンタリーホール他5大都市でデビュー・リサイタルを開催。2013年トップホールでのリサイタルは読売新聞の演奏会評にて「質実剛健な音、得難い逸材」と絶賛され、同年第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。毎年サイトウ・キネン・オーケストラ、アルカス佐世保のレジデンス・カルテットに参加、チェロ四重奏団「クアルテット・エクスプローチェ」ほか室内楽でも活動。2019年CD『オブリヴィオン』をリリース（『レコード芸術』誌特選盤）。メタ・ワツ、オーランド・コール、川元適益、上村昇、山崎伸子、アルト・ノラス、アントニオ・メネセスの各氏に師事。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより1724年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを、弓は匿名のコレクターよりTourteを特別に貸与されている。

公式サイト <http://www.rei-tsujimoto.com>

管弦楽

## 東京交響楽団

公式サイト: <http://tokyosymphony.jp/>

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎文化賞等を受賞。サントリーホール、ミューザ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行う他、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。教育面でも「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」が注目されている。海外公演も多く、これまでに58都市で78公演を行ってきた。

2013年より（公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団とパートナーシップ協定を結んでおり、オーケストラ公演をはじめ、アウトリーチ、市民合唱、ユース・オーケストラの指導などの事業を展開している。2016年には創立70周年を記念しウィーン楽友協会を含むヨーロッパ5ヵ国で公演を行う。また2018年8月には日中平和友好条約締結40周年を記念し、上海・杭州にて公演を行い、文化交流の役割を果たした。音楽監督にジョナサン・ノット、正指揮者に飯森範親、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、名誉客演指揮者に大友直人。

© 青柳聰

## 東京交響楽団 × 八王子市学園都市文化ふれあい財団 パートナーシッププロジェクト

（公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団は、東京交響楽団とのパートナーシップを平成25年度に締結し、ユースオーケストラと市民合唱の育成や、

市内小中学校への出張コンサート、八王子定期演奏会など多彩なプログラムをお届けしています。これからも皆様の身近に音楽を届ける多様な事業の展開をご期待ください。

事業ラインナップ

東京交響楽団 八王子定期演奏会 / オーケストラ・ワンドーランドへようこそ！ / フレッシュ名曲コンサート  
八王子ユースオーケストラ事業 / 市民合唱育成事業（八王子クリンゲンコア）  
学校アウトリーチ事業 ほか